

【平成21年度横手市終期到来補助金に関する最終方針】

連番	補助金等の名称	所管課	H21年度 交付予定額 又は実績額	今後の取り扱い方針		補助金審査会意見		最終方針		
				H22年度以 降の方針	方針に対する理由(必要性、廃 止理由)	H22年度の変更点	判定		評価点	付帯する意見等
1	いきいき地域づくり支 援事業補助金	経営企画 課	6,264,000	継続実施	・地域づくりには地域課題に 地域自らが取り組む市民・ 行政の協働意識、参画意識 の醸成が必要のため。		継続 (条件 付)	17	・地区会議の発意にのみ任せるのではなく、行政として 目的に沿った方向性を指導していくことが必要。補助基 準の設定(統一的な基準)、事業評価(事業内容の精 査)を行い指導すべき。 ・実施した事業が住民に報告されていないところが多い ので周知すべき。	・新たに補助基準を設定し地区会議構成員に説明すると同時に、事業内容 についても見直しを図る。 ・地区会議活動紹介の会報回覧等により、事業周知を強化する。
2	アメシロ防除対策事業 費補助金	農林整備 課	2,003,000	継続実施	・各町内会単位でアメシロセ ン滅のため、共同で薬剤散 布等の防除を行い樹木の緑 を守り保護していくため。	・市内全域に補助対象を拡 大 ・補助要件変更 H21年度1戸200円×1回 H22年度1戸100円×2回	継続 (条件 付)	17	・補助金の存在を広く周知すべき。 ・市として統一した基準の設定が必要。 ・金額合わせ的な予算ではなく事業効果を検証し、アメ シロ防除のように必要な事業には予算を講ずるべき。	・周知及び統一基準の設定については、審査会の意見を踏まえ実施する。 ・散布経費は1戸当り420円程度(H21度見込み)であることから、引き続き町 内会の理解と協力を得ながら、H22年度は1回散布当りの金額を100円に設 定し実施する。
3	若者交流事業補助金	経営企画 課	479,000	継続実施	・少子高齢化対策のため。	・女性の参加率を向上させ るため、事業内容を団体側 と協議中。	継続 (条件 付)	16	【要望】 ・イベントの信頼性を高め参加者の増加を図るため、事 業の位置づけを検討しても良いのではないか。(市主催 委託費への検討等) ・より効果的なものにするために事業内容の工夫をお願い したい。	・イベントの信頼度を高めるという点においては、市が少子化対策(非婚化・ 晩婚化対策)の一環として支援しているという点の周知を強化する。(県に おいても支援団体として認知済) 事業の位置づけについては、団体側の自由な発想や創意工夫を取り入 れ、より効果的なイベントとなるようにするために、当面の間、これまでと同様 に補助事業とする。
4	十文字駅前バス待合 所維持費補助金	経営企画 課	43,000	継続実施	・少人数ではあるが、高齢 者等の利用者が存在するた め。		継続 (条件 付)	17	【要望】 ・駅改修工事までの間は、補助金交付することでやむを 得ないと考える。 ・駅改修時に駅口へバスが寄るルートとなるよう検討し てほしい。	・十文字駅舎改修計画が早期に実施される場合は、審査会意見のとおり、駅 舎を活用した待合形態の実現に向け取り組みたい。 ・上記以外にも、利用状況の推移を見守り、設置効果が極めて低いと判断さ れる場合には、利用者及び地域の意向を把握しつつ、撤去も選択肢の一つ としたい。
5	高齢者福祉施設介護 業務就労サポート事業 補助金	社会福祉 課	8,549,384	継続実施	・21年度当初の予定より申 請者が多く、まだ市民から の問い合わせがまだ続いて いる。また、介護関係の求 人が比較的多い。市民の ニーズの多さと社会情勢か ら雇用対策として22年度に おいても内容の見直し継続 実施	・募集人数の上限を変更 (100人 50人)	継続 (条件 付)	17	・求人情報などにより、現場が必要とする人数を見極め ながら、人数募集をすべき。 ・一定の補助条件を付するべき。(目的の意に反する場 合は返還も求めてもよいのでは)	・審査会意見を踏まえて、介護保険事業所の情報や求人情報を注視する。 ・審査会委員意見に基づき、就労支援対策であることを明確にするため、ハ ローワークに登録している者(求職カード保持者)であることを補助条件とし、 就労意欲を確認するための調書を補助金申請時に添付してもらうこととす る。(受講終了後、未就労の者については求職活動中であると想定されるこ とから返還は求めないものとする)
6	横手市住宅リフォーム 促進事業補助金	建築住宅 課	150,000,000	継続実施	当初予算の30,000千円を上 回り補助金額が140,000千 円以上とここ数ヶ月の間に 地域経済の活性化に効果を 発揮している。引続き民間 の活力を支援し地域経済の 上昇が見込まれる。		継続 (条件 付)	17	・個人資産に対し公金を投入するのであれば、「なぜ住 宅リフォームなのか」を施策として市民に対し説明できる 理由を検討すべき。 ・市の単独財源で継続するのであれば、事業内容に一 定程度の条件を付するべき。	・住宅リフォーム事業は、「地域経済活性化」を図るうえで、すそ野が広いた め、建築関連の景気刺激策として効果的な事業である。これについては、当 該補助金が事業創出の起爆剤になっていることがアンケート結果からも証明 されている。 ・平成22年度も引続き厳しい経済状況が予想され、市内の建築関連事業者 の経営環境も厳しい状況が続くと予測されるので、市内産業の活性化や雇 用確保を支援する観点から、幅広い業種が参入できるようにするためには条 件等は付さず、21年度と同様に継続する。 ・なお、秋田県でも県内経済活性化を図るため、H22年3月から「住宅リフォー ム緊急支援事業」を実施し、工事費の10%(上限20万円)を補助する。市町村 独自のリフォーム補助との併用が可能であることから、H22年度ではH21年 度事業との均衡を図る観点から、上限額、補助率を変更して実施する。
7	横手市住宅用太陽光 発電システム設置事業 費補助金	経営企画 課	30,000,000	継続実施	・システム普及促進するう えで、雪国というハンディを克 服するために来年度も継続 実施する必要があるため。	・1kw当補助単価の変更 70,000円 50,000円	継続 (条件 付)	18	【要望】 ・単価設定するうえで理屈づけを工夫すべきではない か。	・H21年度の単価設定をするに当たり、全国的な自治体の例では1kw当30,000 円～50,000円の補助額が多く見受けられた。本市の単価設定は、降雪地域 であることを考慮し、他の自治体より高めの単価設定、国補助と同額の1kw 当70,000円とした。 H22年度については、事業2年目ということもあり、H21年度と比較し低く単 価設定することとし、他自治体の上限値である1kw当50,000円に設定する。

21点以上 継続
20点～13点 条件付継続(内容等改善)
12点以下 廃止

連番	補助金等の名称	所管課	H21年度 交付予定額 又は実績額	今後の取り扱い方針			補助金審査会意見			最終方針
				H22年度以 降の方針	方針に対する理由(必要性、廃 止理由)	H22年度の変更点	判定	評価点	付帯する意見等	
8	地区会議運営費補助 金	経営企画 課	0	21年度で 終了	・運営費補助見直し方針に 伴い平成21年度より、必要 金額の直接支払いとしたた め。		-	-	-	-
9	たばこ販売同業者組 合補助金	市民税課	20,000	21年度で 終了	・組合員の減少による啓発 活動の停滞。(団体と協議 済)		-	-	-	-
10	たばこ小売人組合補 助金	市民税課	10,000	21年度で 終了	・組合員の高齢化・減員によ り活動休止しているため。 (団体と協議済)		-	-	-	-
11	共同牧場運営費補助 金	山内産業 振興課	0	21年度で 終了	・牧場の指定管理実施に向 け、施設の管理運営を市直 営としたことによる。		-	-	-	-
12	養豚経営活性化資金 利子補給費補助	農政課	0	21年度で 終了	・事業実績がないため。		-	-	-	-
13	地域情報化推進事業 補助金	大森地域 振興課	802,000	21年度で 終了	・所期の目的を達成し H21.5.31でプロバイダ事業 が終了		-	-	-	-
14	メジャー拡大作物出荷 施設整備補助金	農政課	3,000,000	21年度で 終了	・実施から3年経過所期の 目的は達成済み。		-	-	-	-
15	担い手農家へのステッ プアップ補助金	農政課	0	21年度で 終了	・所期の目的を達成したた め。		-	-	-	-
16	魅力ある農村・地域づ くりチャレンジ補助金	農政課	0	21年度で 終了	・所期の目的を達成したた め。		-	-	-	-
17	転作作物栽培試験等 補助金	農政課	1,500,000	21年度で 終了	・国政策の転換(個別所得 保障)により現行事業を廃 止し新たな制度設計が必要 。		-	-	-	-
18	集落リーダー育成サ ポート事業費補助金	農政課	0	21年度で 終了	・必要に応じて国県制度を 活用し対応。		-	-	-	-
19	地域提案型農業法人 育成事業費補助金	農政課	0	21年度で 終了	・必要に応じて国県制度を 活用し対応。		-	-	-	-
20	土壌環境総合対策事 業費補助金	農政課	47,980,000	21年度で 終了	・事業完了		-	-	-	-
21	果樹産地構造改革事 業費補助金	農政課	4,500,000	21年度で 終了	・事業完了(生活対策臨時 交付金・経済危機対策臨時 交付金事業)		-	-	-	-
22	B-1グランプリin横手 事業実施補助金	市長公室	5,000,000	21年度で 終了	・事業完了		-	-	-	-
23	増田町観光拠点施設 整備事業補助金	増田産業 振興	2,400,000	21年度で 終了	・事業完了		-	-	-	-
24	地域種苗センター強化 事業	農政課	6,500,000	21年度で 終了	・事業完了(生活臨時対策 交付金事業)		-	-	-	-
25	大鳥地区テレビ共同受 信施設改修事業補助 金	教育総務 課	9,765,000	21年度で 終了	・事業終了		-	-	-	-
26	横手市バス運行表示 システム等整備事業補 助金	経営企画 課	580,000	21年度で 終了	・事業完了		-	-	-	-
合計			279,395,384	26 件						
うち継続			197,338,384	7 件						
うち廃止			82,057,000	19 件						

21点以上 継続
20点～13点 条件付継続(内容等改善)
12点以下 廃止